



進路指導部通信

令和8年7月21日 No.3
青森県立弘前第一養護学校
進路指導部

高等部 前期産業現場等における実習



高等部では、6月1日(月)から12日(金)までの2週間、1学年は校内実習、2・3学年は現場実習という形で「前期産業現場等における実習」を実施しました。

校内実習では、空き缶潰しやシュレッダー作業、東和電機工業株式会社様から委託されたボルトナットの仮組や銅線の被膜剥がしの仕事を行いました。実際に企業の製品を取り扱い、責任をもって完成品を納品することができました。

現場実習では、2・3学年37名に対し、32か所の企業や福祉事業所にご協力いただきました。誠にありがとうございました。生徒はそれぞれの実習先で、将来を見据えた作業や活動を行いました。各自がもてる力を発揮し、精神的に一回り成長することができた実習になったのではないのでしょうか。一部ではありますが、生徒たちの実習の様子を紹介します。

【校内実習(1学年)】

○実習内容

空き缶潰し、シュレッダー等



【校内実習(1学年)】

○実習内容

ボルトナットの仮組、銅線の被膜剥がし等



【現場実習(2学年)】

○実習先

黒石苑

○実習内容

にんにくの皮むき、創作活動等



【現場実習(2学年)】

○実習先

ゆいまある

○実習内容

パン製造補助等



【現場実習(2学年)】

○実習先

はすね子ども園

○実習内容

配膳、環境整備等



【現場実習(3学年)】

○実習先

ライフサポートステーション星河

○実習内容

創作活動等



【現場実習(3学年)】

○実習先

(有)桜庭技建

○実習内容

建て込み、型枠となる板の加工等



【現場実習(3学年)】

○実習先

(株)西村りんご園

○実習内容

摘果等



農福連携に係る農業体験実習①

【高等部農業班】

高等部農業班は、6月19日（金）気温が30度を超える中『Farm なる実』様のりんご園で「ふじ」と「ぐんま名月」二品種の摘果作業を行いました。摘果作業が初めての生徒もいましたが、代表の鳴海氏が写真入りの説明書を用意してくださり、本来は中心果を残す必要があるのですが「難しく考えなくていいよ。自分がカッコイイと思った実を1つ残せばいいよ。」と気持ちが楽になるような言葉を掛けてくださりして、生徒は集中して取り組むことができました。最後に、10月下旬頃に収穫される「ぐんま名月」と11月上旬から収穫される「ふじ」の果実の大きさ（重さ）を比較し、生育の違いを学ぶことができました。

農業体験実習は、9月に葉取り作業（2回目）、10月に収穫作業（3回目）を予定しています。

なお、代表の鳴海氏は一昨年度から本校の学校運営協議会委員でもあります。本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。



福祉サービス利用説明会

6月26日（金）の高等部授業参観日に、弘前市障がい福祉課の社会福祉主事・秋庭様を講師としてお招きし、「令和8年度福祉サービス説明会」を開催しました。保護者の皆様にもご参加いただき、卒業後の生活や進路に関わる福祉制度について理解を深める機会となりました。

説明会では、「①卒業後の進路に関わる福祉サービスの種類と内容」「②就労選択支援」「③その他」の3つの内容について説明していただきました。

①「卒業後の進路に関わる福祉サービスの種類と内容」では、障害者支援区分が必要となる福祉サービスの種類や、それぞれのサービスの概要、利用開始までの手続きの流れについて、弘前市を例に挙げながら詳しく説明していただきました。また、相談から申請、サービス利用開始までの一連の流れについても、具体例を交えながら分かりやすく紹介していただきました。

②「就労選択支援」では、対象となる方やサービスの内容、利用までの手続きに加え、これまで行われてきたアセスメントとの違いについても説明がありました。進路選択に向けて、一人一人に合った就労を支える新たな制度について理解を深めることができました。

③「その他」では、愛護手帳の再判定や障害年金の受給に関する手続きについて、申請時期や手続きの進め方を中心に説明していただきました。

福祉サービスに関する窓口は、お住まいの市町村によって異なりますが、基本的な手続きや利用までの流れは共通しています。卒業後の生活を見据えた準備を進めるためにも、不明な点がございましたら、お住まいの市町村の障がい福祉担当窓口へご相談ください。

